

## 主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

### 主要航路の荷動きのポイント

**北米航路** 往航（2019年10月）1,561,785 TEU（10.2%減）（2018年10月：1,739,640 TEU）

・《**昨年の反動で急減。中国積み前年比21.4%減、ASEAN積み増加続く**》

復航（2019年8月）574,211 TEU（4.9%増）（2018年8月：547,145 TEU）

- 北米往航（アジアから米国）は、前年比10.2%減で8か月振りのマイナス。2019年10月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比23.9%減の2,040ドル/TEUで3か月連続のマイナス。
- 北米復航（米国からアジア）は、前年比4.9%増で、4か月振りのプラス。2019年10月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年同の770ドル/TEU。

**欧州航路** 往航（2019年9月）1,351,627 TEU（3.4%減）（2018年9月：1,399,543 TEU）

・《**7か月ぶりの減少も、累計ベースでは3.7%増**》

復航（2019年9月）664,437 TEU（8.8%増）（2018年9月：610,682 TEU）

- 欧州往航（アジアから欧州）は前年比3.4%減で7か月振りのマイナス。2019年10月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は、前年比5.4%減の1,050ドル/TEUで4か月連続のマイナス。
- 欧州復航（欧州からアジア）は前年比8.8%増で9か月連続のプラス。2019年10月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は、前年比2.2%減の890ドル/TEUで2か月振りのマイナス。

**日中航路** 往航（2019年9月）745,371 トン（14.2%減）（2018年9月：868,794 トン）

・《**9月の荷動き量は、統計開始以来9月単月としては最低**》

復航（2019年9月）1,763,448 トン（5.4%増）（2018年9月：1,672,623 トン）

- 日中往航（日本から中国）は、前年比14.2%減で7か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比11.4%減の5,976億円で7か月連続のマイナス。2019年10月の横浜-上海間の運賃は前年比18.4%増の450ドル/TEUで14か月連続のプラス。
- 日中復航（中国から日本）は、前年比5.4%増で2か月振りのプラス。金額ベースでは前年比0.9%減の1兆1,012億円で2か月連続のマイナス。2019年10月の上海発-横浜向の運賃は前年同の630ドル/TEU。

**アジア域内航路** （2019年9月）3,157,200 TEU（2.0%減）（2018年9月：3,221,500 TEU）

- CTS社による集計では、前年比2.0%減となる315万TEUで2か月連続のマイナス。2019年10月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比9.6%増の812ドル/FEUで10か月連続のプラス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*,に基づく



図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

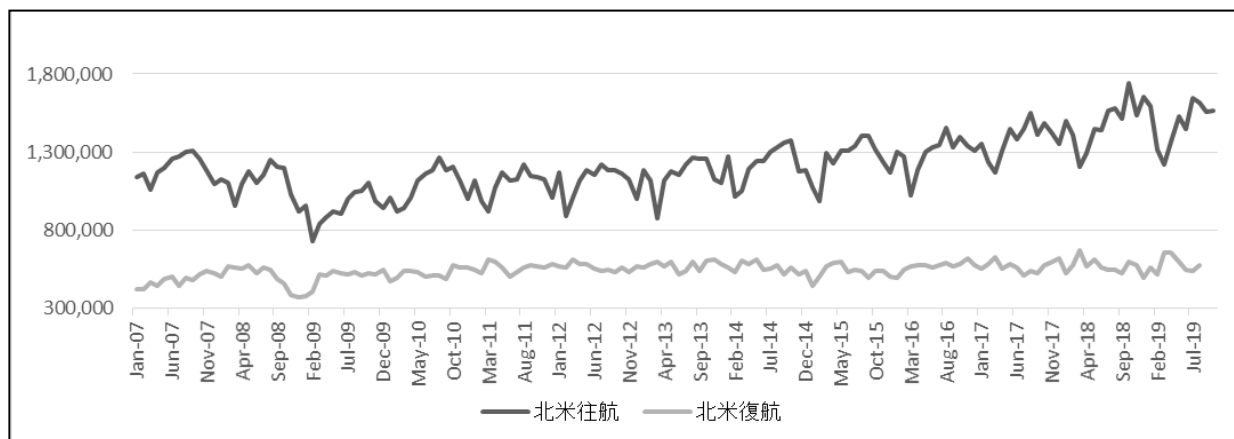


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

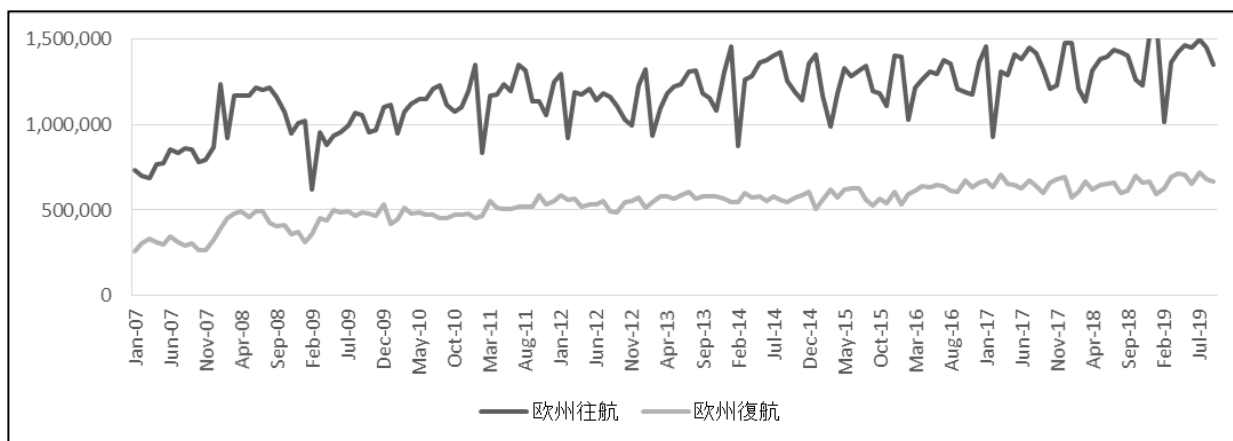


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

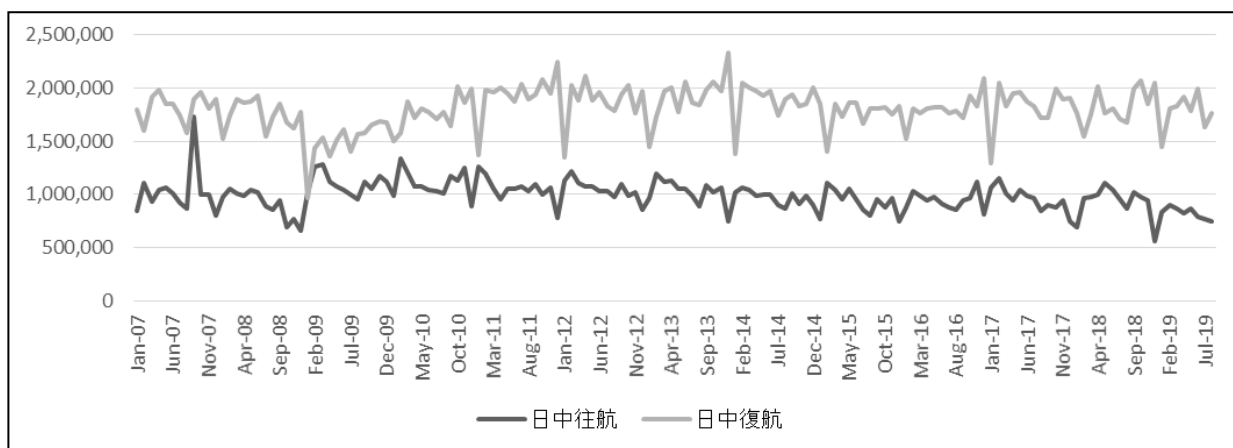


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

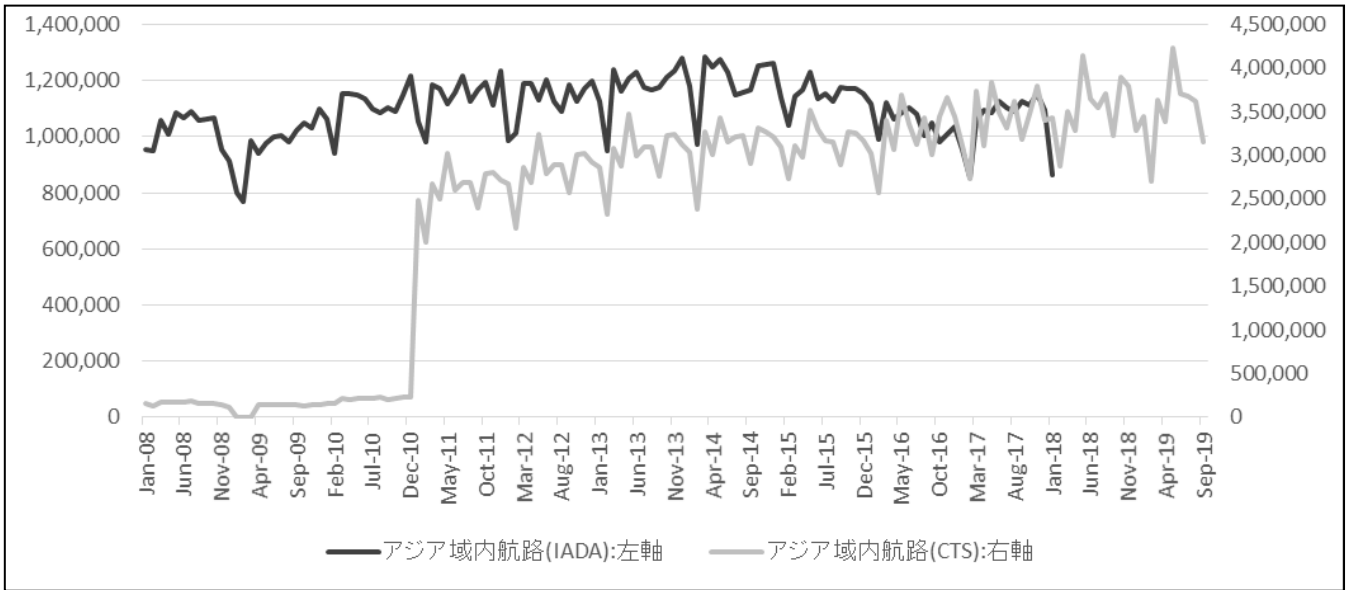


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

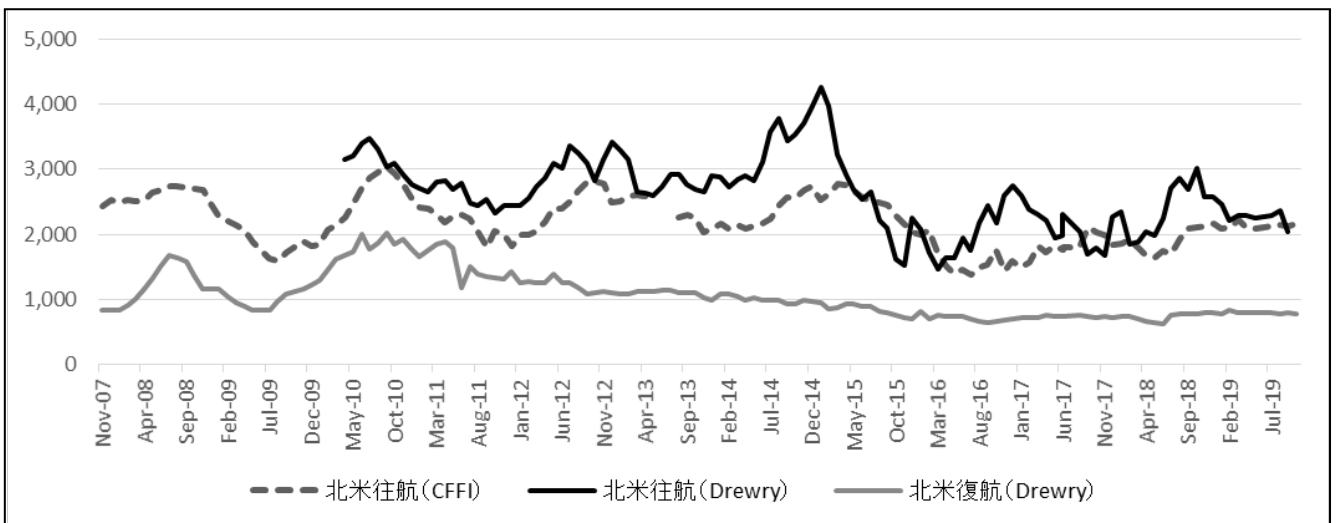


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

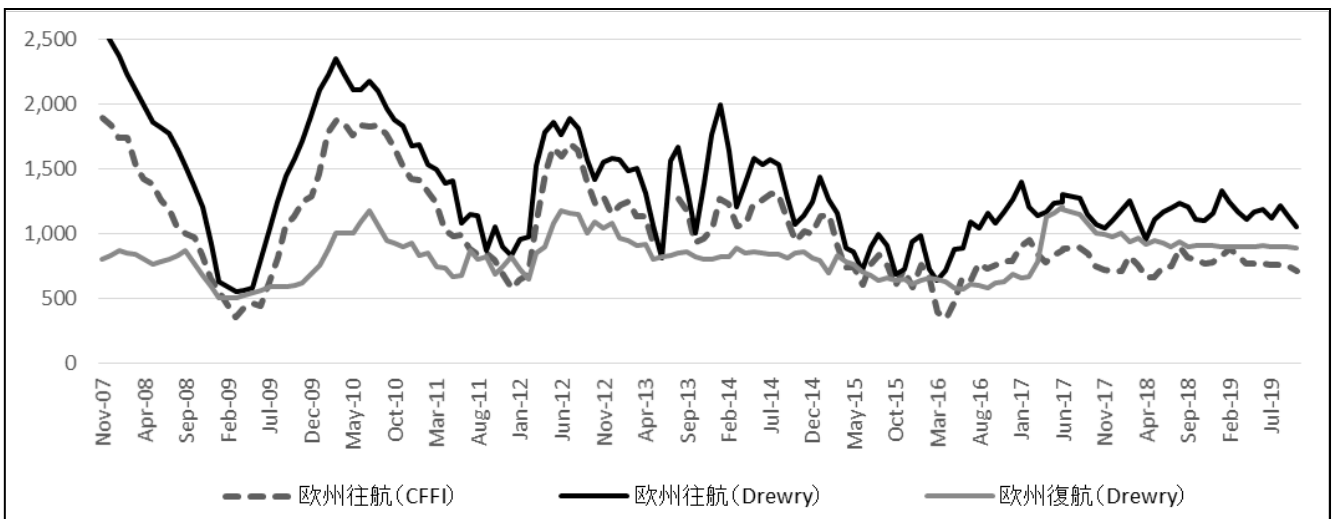
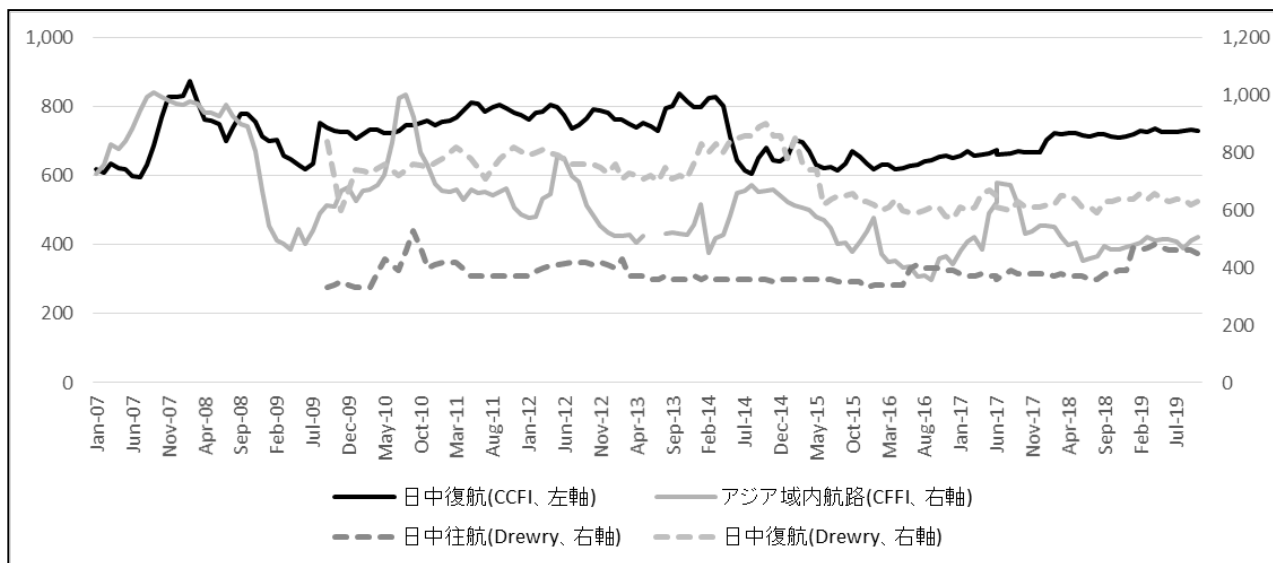


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 ( 単位 : 指数 ( 左軸 )、ドル/TEU ( 右軸 ) )



( 参考 ) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量 : PIERS ( Port Import/Export Reporting Service ) データ
- 2.欧州航路輸送量 : Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量 : IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. ( CTS 社 )
- 4.日中航路輸送量 ( トンベース ) : ( 公財 ) 日本海事センター企画研究部 ( 注意 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計 )
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 ( 往航では ( CI,Drewry ) と示した列、復航 ) : Drewry “Container Freight Rate Insight”:南中国 ( 塩田 ) と米国東岸 ( ニューヨーク )、英国 ( フェリックストウ ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数( ( CCFI ) と示した列 ) : 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数 ( 毎月 ) : 中国国際海運網ウェブサイト ( 中国・東南アジア間航路の運賃指数 ) Drewry “Container Freight Rate Insight”:Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数 :
  - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly” ( 上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ( ( CCFI ) と示した列 ) ) :
  - ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight” ( 中国 ( 上海 ) と東京/横浜間の運賃 ) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**
- 9.BDI ( バルチック海運指数 ) :
  - ・ トランプデータサービス “World Maritime Analysis”
- 10.円ドルレート :
  - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>